

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公表番号】特表 2008-524406 (P2008-524406A)

【公表日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報 2008-027

【出願番号】特願 2007-547244 (P2007-547244)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/24 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 64/24

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 3 日 (2008.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

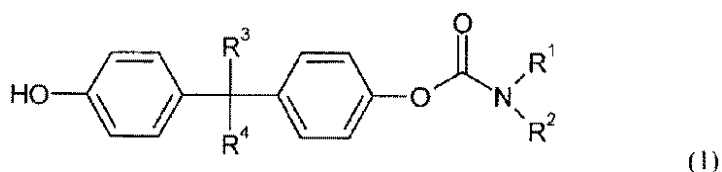
【請求項 1】

ホスゲン化工程における温度が 0 ~ 40 であり、かつ触媒添加時における反応混合物の温度が 10 ~ 40 であり、触媒が溶液中に存在し、かつビスフェノールのモル対ホスゲンのモルの比が 1 : 1.05 ~ 1 : 1.20 であることを特徴とする、ポリカーボネートの製造方法。

【請求項 2】

カーボネート構造の加水分解後に測定される式 (1)

【化 1】



(式中、

R¹ および R² は互いに独立して水素または C₁ ~ C₁₂ - アルキルであるかまたは

R¹ および R² は全体として C₄ ~ C₁₂ - アルキリデンであり、

R³ および R⁴ は互いに独立して水素または C₁ ~ C₁₂ - アルキルであるかまたは

R³ および R⁴ はそれらが結合している炭素原子と共にシクロヘキシルまたはトリメチルシクロヘキシルを形成する。)

の化合物の含量が 0.25 ppm ~ 180 ppm である、請求項 1 記載のポリカーボネートの製造方法。

【請求項 3】

触媒添加時における反応混合物の温度が 5 ~ 36 であることを特徴とする、請求項 1 記載の方法。